

北海道子どもセンターの 13年をふりかえって

事務局長 土井 寿



2000年12月、北海道子どもセンター設立総会が開催された。その際提起された「主任手当自主的抛
出の訴え」には次のような記述があります。

「今日の子どもと教育のさまざまな困難は、人間がつくりだした
所産だということができるのではないのでしょうか。だとするな
ら、人間の力でこの困難を打開し、よりよい社会をつくるの
も人間の努力、すなわち私たちの努力にかかっているのだとい
えるでしょう。…私たちのまわりには、絶えない子どもの笑顔
があります。目前の21世紀の扉を、子どもの夢がふくらみ、
希望をもって押し開けるようみなさんと力をあわせてすすま
しょう。」

2001年4月から北海道子どもセンターは活動を開始しま
した。その10年目、3・11に遭遇しました。地震、津波そ
して原発事故という有史以来最大の危機の中に子どもたちが陥
られました。福島県立学校退職教職員九条の会の「フクシマ
からのアピール」に胸を打たれました。

「…『自然豊かな故郷を子どもたちに』どころか、放射能被曝
という恐怖にさらしてしまい、子どもたちの未来を守ってや
ることができなかったのです。福島の地で『子どもたち=未
来』と向き合う仕事に生きてきた私たちは、この点において
どんなに悔やんでも悔やみ切れません。さらには『憲法九条
を守り、教え子を再び戦場に送らない』を共通の願いとしな
がら、『原子力の平和利用』という言葉に幻惑され、『核兵
器の潜在的能力の保持のためにも、原発の維持は必要だ』と
する本音を、十分に見抜けなかったことも悔やまれます」

冒頭に紹介した「子どもと教育の様々な困難は、人間がつく
り出す所産」という見地は、何人も否定できません。戦争、飢
餓、貧困、児童虐待、原発・原爆による環境破壊と生物生存の
危機等もすべて私たち大人社会が産み出す所産ではないでしょ
うか。

北海道子どもセンターが掲げた21世紀への誓いは、今後一
層重要な見地と思います。47教育基本法の冒頭に

「われらは、さきに、日本国憲法を制定し、民主的で文化的な
国家を建設して、世界平和と人類福祉に貢献しようとする決
意を示した。この理想の実現は、根本において教育の力にま
つべきものである」と述べています。

これらの言葉を想起するとき、北海道子どもセンターの活動
に関わったことに感謝しつつ、退任の辞としたいと思います。

子どもの笑顔が輝くように 子どもと青年、保護者、教職員、 道民の皆さんと手を携えていきます

北海道子どもセンターは、「子どもたちの
人間としての豊かな発達と未来を保障し、子
育てを教職員・保護者・道民協同の力ですすめ
る目的で、2002年に発足しました。



発足以来、教育相談活動を軸に教
育講演会・シンポジウムの開催、教
育・子育てアンケートにもとづく教

育情報の提供、ブックレット出版などをおこ
なってきました。

北海道子どもセンターの運営財源は、全道
の公立学校教職員から拠出された主任手当
や、広く道民の皆さんからの協賛募金など
によってまかなわれています。

北海道子どもセンターは次のような活動をしています

1 教育相談活動

子どもと保護者と現職教職員
のための「子育て・教育相談」を
電話やメールで行って
います。



2 シンポジウムなどの開催

学力問題、いじめ・不登校、
非行、中途退学、子どもの貧困、
東日本大震災・原発放射能汚染と
子どもと学校教育などの教育講
演会、シンポジウムを開催
してきました。



3 教育情報・資料の提供

ブックレットを5種類発行し
ました。
子どもたちの現状などについ
てのアンケート活動をもとに、
教職員や各種教育研究集会など
への情報提供をしています。



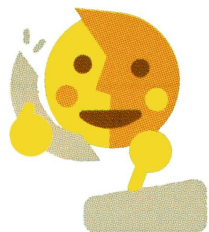
北海道子どもセンター

教育相談のご案内

こんなこと、どこに相談したらいいのかわからない？

こんなこと、先生に言ってもいいのかな？

とにかく、困ったときは、ひとりで悩まずに気軽にお電話ください



子どもと保護者と
現職教職員のための
子育て・教育電話相談

011-733-6606

(月曜日～金曜日 午前10時～午後2時)

こんな相談も気軽に

☆学習のつまずきや遅れが気になって…

☆落ち着きがないことや動作・行動が気になって…

☆言葉や発達に遅れがあるのではと気になる…

☆友だちとうまく関われない、友人関係が気になって

☆登校しぶり、不登校のことが… ☆進路のことについて

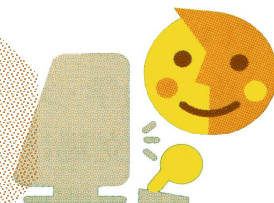
☆学校をやめたいという… ☆最近、生活の乱れが気になる…

☆生活が苦しく、子どものことが…

☆つい、子どもに手をあげてしまう…

電話ができない場合はメール相談をどうぞ

dokodomo@gmail.com



元小学校・中学校の教師、校長、大学非常勤講師などベテランの相談員がていねいに相談に応じます
また、全道の様々な団体や専門機関、大学教員などとのネットワークをいかしてサポートします

◎ 教育懇談会、地域の相談会、先生方の教育研究会への
アドバイザー派遣にも応じています

北海道子どもセンター

〒060-0909 札幌市東区北9条東1丁目2-22 3F

tel 011-733-6606 fax 011-742-1001

ホームページ <http://do-kodomo-center.jimdo.com/>

